



μ C3/Standard+CFG 評価版ガイド
TZ2000&TZ2100 編

2016 年 03 月 イー・フォース株式会社

1. はじめに

このたびは、μ C3/Standard+CFG 評価版をお試しいただき、ありがとうございます。本書では評価版パッケージのインストール手順、パッケージの概要について説明しています。

なお、μ C3/Standard (RTOS) の詳細については、評価版のインストール後、Document フォルダにインストールされるユーザズガイドを参考にして下さい。

制限事項

添付しているプログラムを製品評価以外の目的で使用することはできません。本評価版は製品版とは異なり、RTOS のソースコードが含まれないほか、下記の機能制限がなされています。

- RTOS の ID 数の制限

タスクの個数：8（製品版では 255）

その他のオブジェクト個数：8（製品版では 999）

※ 参考情報

IDの詳細については、μ C3/Standardユーザズガイド「3.3.1 オブジェクトの ID番号上限のコンフィグレーション情報」を参照してください。

本評価版を使用するにはコンパイラとデバッガが別途必要です。

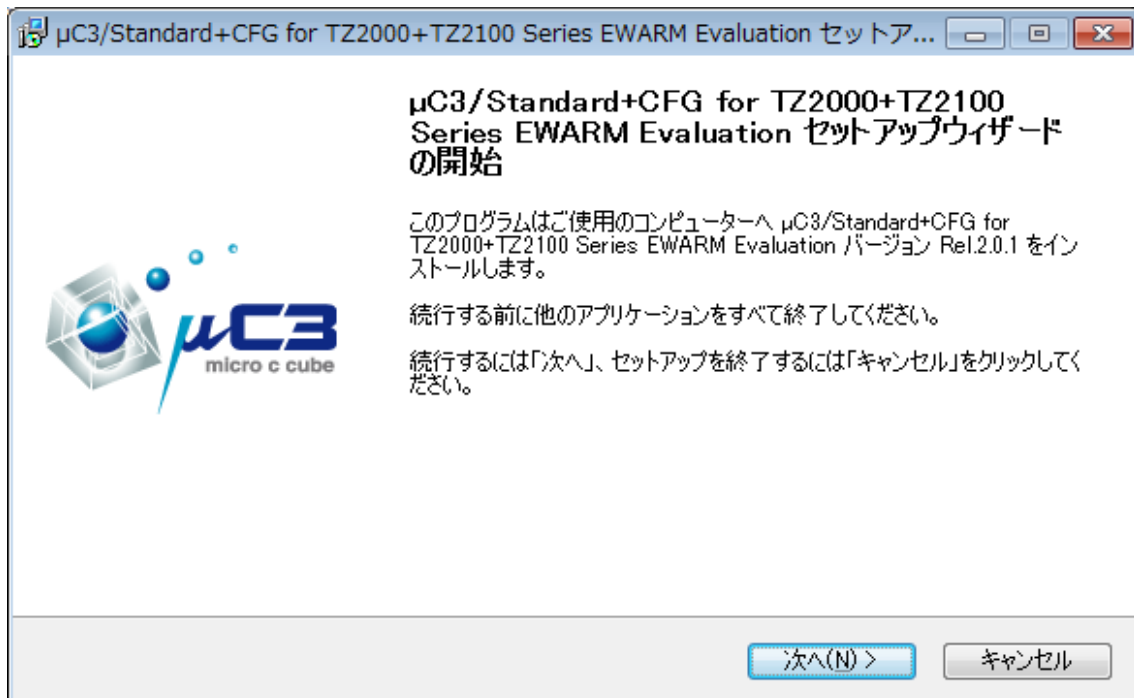
2. パッケージの概要

インストーラ

μ C3/Standard+CFG 評価版では、下記インストーラが用意されています。

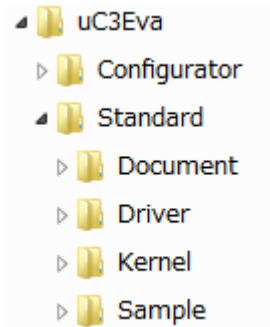
IAR Systems 社 Embedded Workbench ARM 向け
→uC3s+cfg_tz2xxx_ewarm_eval.exe

インストーラを起動すると下記インストール画面が表示されるので、インストーラのメッセージに従い、評価版パッケージをインストールしてください。




フォルダ構成

インストールが完了すると、評価版のパッケージは、以下の構成となります。



コンフィグレータの起動

μ C3/Standard+CFGでは、RTOSやTCP/IPプロトコルスタックのコンフィグレーションが簡単に行えるようにGUIのコンフィグレータが付属しています。インストール時にデスクトップにアイコンを作成する、を選択した場合は、のアイコンを実行すると、μ C3コンフィグレータが起動されます。

または、直接「¥uC3Eva¥Configurator¥Configurator.exe」を起動してください。

サンプルプログラムの実行

μ C3/Standard+CFG では、評価ボードをターゲットとしたサンプルを用意しています。サンプルプログラムの実行方法は、「¥uC3Eva¥Standard¥Document」内のチュートリアルガイドを参考にして下さい。